

裁判所は重慶爆撃の被害者の声を聞いて下さい!!

重慶爆撃裁判は188名の爆撃被害者が日本国に謝罪・賠償を求めている。昨年2月、東京地裁で一審判決。敗訴したが日本軍の無差別爆撃の実相を詳細に認定。現在東京高裁に係属中です。

第42回連続学習講座《重慶大爆撃—戦略爆撃の思想を問う》

8月2日(火)

午後6時30分~9時

資料代500円

場所：港区立商工会館2階研修室

東京都港区海岸 1-4-28 電話:03-3433-0862) J R 浜松町駅北口下車



商工会館は昨年から移転しています。おまちがえなきよう!!



映像で見る重慶爆撃の被害者たち

講師：鈴木賢士さん(フォトジャーナリスト)

*主な映像作品：『韓国のヒロシマ』(TVF2016大賞受賞)、『生きて 伝える—戦災孤児 吉田由美子さん』(TVF2015入選)、『日本軍最後の「兵器」』(2015年とよたビデオコンテスト大賞受賞)など。
*主な著書：『写真で伝える東京大空襲の傷あと・生き証人』(高文研)、『韓国のヒロシマ—韓国に生きる被爆者は、いま』(高文研)など。

<上映作品の紹介>

①『半面美人—重慶爆撃被害者 趙茂蓉さんの証言』12分30秒

4人きょうだいの3番目に生まれた趙茂蓉さん。家が貧しかったため9歳のころから紡績工場に働きに出た。1941年8月23日、突然空襲警報が鳴り、職場の仲間と防空洞めがけて走った。防空洞はいっぱいで、入り口に群がっているところに爆弾が落ち、破片が彼女の頬を突き刺した。仲間に『半面美人』とからかわれ、後に娘とも断絶するような、辛い人生を送っている。



(趙茂蓉さん)



②『72年間 体内に居座った爆弾の破片』11分30秒

1940年7月、日本軍の爆撃で重傷を負った蒋太華さん。その時体内に入った爆弾の破片が99歳で亡くなるまで、生涯、蒋さんを苦しめた。

(←蒋太華さん)

③『簡さんの笑顔が見たい』9分45秒

東京大空襲をはじめ日本各地の空襲被害者を撮影する中で、空襲の歴史で世界に先駆けたのが日本軍による重慶爆撃だったことを知り、重慶に向かう。簡全碧さんは2歳の時、重慶大爆撃で胸に爆弾の破片が突き刺さった。誰でも、幼い時に体と心に迫った深い傷は、生涯消えることはない。日本と中国の空襲被害者の思いを伝え、日本の加害の事実にも目を向けた。



(簡全碧さん)

◆東京大空襲訴訟原告団から最近の活動内容を報告していただく予定です。

【お知らせ】「重慶大爆撃写真展 —中国への無差別爆撃の被害者の訴え—」

日時：8月29日(月)から9月1日(木)までの4日間 午前10時から午後8時まで

入場料：無料

場所：九段生涯学習館2階 九段ギャラリー

(東京メトロ東西線・半蔵門線、都営地下鉄新宿線「九段下」駅下車 6番出口前、電話：03-3234-2841)

「重慶大爆撃の被害者と連帯する会・東京」代表・前田哲男／重慶大爆撃訴訟弁護団(団長・田代博之弁護士)
弁護団：〒105-0003 東京都港区西新橋 1-21-5 一瀬法律事務所 TEL03-3501-5558 FAX03-3501-5565 Email:info@ichinoselaw.com

◆Web サイト <http://www.anti-bombing.net> ブログ『重慶大爆撃とは?』<http://blog.goo.ne.jp/dublin-ki>

◆講演の問合せは、上記弁護団事務局(一瀬法律事務所)の元永(もとなが)までお願いします。

2016.7.13